

Casting Our Eyes
on the Future

視線はまっすぐ未来へ

第86期

中間報告書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで



Ahresty

株式会社 アーレスティ

証券コード:5852



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アーレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアーレスティ自身の未来へ向けられ、Research(研究・開発)、Service(サービス)、Technology(技術)において常に主導的リーダーに立ち前進しようという企業姿勢を具現化したものです。

なお、“Casting”は、“投げかける”という意味の他に、当社の主要事業である“Die Casting”の意味も込めています。

タグライン：タグラインは、アーレスティブランド、企業理念を社内外へ発信する究極的なメッセージであり、コーポレートシンボルとセットで使われる言葉です。

【a:resti】

これからは、より質の高い
Research, Service, Technology を
追求していきます。

アーレステイはR・S・T、Research、Service、
Technologyこれらの三つの言葉の統合ですが、
Rは単に研究・開発だけでなく、
どうしたらもっとお客様のお役にたてるかの創意と探求、
Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、
お客様とのすべての接点で、
そしてTはこのRとSをささえる知識と
技術を考えています。
この社名に込められた企業理念を大切に生かし、
様々な製品を通して、
広く社会のお役に立ちたいと願っております。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
VISION	3
コンプライアンス基本方針	4
環境方針	4
営業の概況	5
事業別の概況	6
連結貸借対照表	7
連結損益計算書	8
単体貸借対照表	9
単体損益計算書	10
トピックス	11
株式情報	12
会社の概要	13
株主メモ	14

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第86期中間(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)の事業の概要につきまして、ご報告いたします。

今後とも事業の発展に全力を尽くしてまいり所存です。
株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月



代表取締役社長

高橋 新

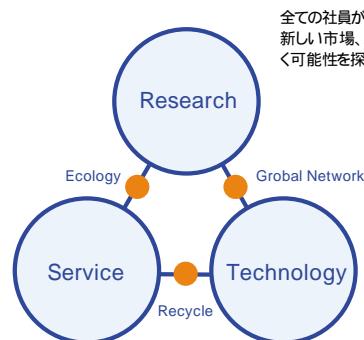
常に生きいきと活動し理論と実験と創意と工夫を尊重して、
品質のすぐれた製品と行き届いたサービスを提供しよう

(1) 経営の基本方針

アーレスティはR・S・T、Research、Service、Technology、これらは三つの言葉の統合ですが「R」は単に研究・開発だけではなく、どうしたらもっとお客様のお役に立てるかの創意と探求、「S」は製品の品質やアフターサービスだけでなく、お客様とのすべての接点で、「T」はこのRとSを支える知識と技術を考えております。私たちは常に、より品質の高いResearch、Service、Technologyを追求してまいります。

2005年に新しく策定した「アーレスティ10年ビジョン」では「『すべてのステークホルダーから信頼される企業』をめざす」ことを基本の方針とし、顧客・株主/投資家・従業員・取引先・社会の5つの利害関係者の視点に立って「信頼される企業」となるためにはどうすべきかという観点で、あるべき姿を描き、具体的な指針・手段として方針を定めております。この10年ビジョンをベースに中期経営方針(0507 3カ年アーレスティ方針)では、より具

体的な施策・目標値を設定し、更に部門方針へと展開して全社的な方針管理活動を推進してまいります。



全ての社員が独創的な技術を持ちろん、新しい市場、新しい販売方法まで、広く可能性を探り続けます。

お客様の気持ちになってモノを考え製品を生み出すこと。それがアーレスティのサービスの基本です。

全てのスタッフ一人ひとりが、お客様の要望に真剣に取り組むことからノウハウを積み重ね、独自の技術を生み出しています。

(2) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主をはじめとする全てのステークホルダーに対する経営責任と説明責任を明確にするとともに、高い透明性を伴った経営体制を確立することで、当社グループ全体での収益力の拡大と企業価値の増大を目指しております。さらには内部統制システムとリスク管理体制を充実させ、グループ子会社の事業活動に

ついても管理・監督を行う経営システムの構築を図ることをコーポレート・ガバナンスの基本的な方針と考え、重要な経営課題であると認識しております。

コンプライアンス基本方針

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、この基本方針を制定し役員および従業員は、自らの行動または業務遂行のための行動において、これを遵守します。

- 1 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- 2 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- 3 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- 4 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- 5 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- 6 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- 7 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- 8 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。
- 9 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動します。
- 10 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。

環境方針

かけがえのない地球を守るのは私たちの大切な役割です。株式会社アーレスティの環境への取り組みをご紹介します。

- 1 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地域環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
- 2 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取組みます。
- 3 私たちは特に次の事項について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取組みます。
 大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
 廃棄物の再資源化100%を維持します。
 廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
 CO2排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
 環境に配慮した製品及び商品の開発・設計に取組みます。
- 4 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的に行います。
- 5 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。

～ 私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします ～

営業の概況

企業集団の営業の経過および成果

当上半期におけるわが国の経済は、原油高を背景とした石油製品の上昇や原材料価格の上昇という懸念材料はあるものの企業収益の改善及び設備投資の増加や個人消費の緩やかな伸びなど民間経済の堅調に支えられ回復基調を保っております。海外においても米国やアジア地域の景気は拡大基調を保ち、ユーロ圏の景気も回復基調となっております。

このような状況の中で、当社グループは、積極的な売上げ拡大と国内外の設備増強、工場部門の製造原価低減、間接部門の経費削減を推進してまいりました。この結果、当上半期の業績は、売上高は前年同期に比べ18.9%増加し565億54百万円となりました。収益面は、前年同期に比べ経常利益は26.7%増加し36億33百万円、中間純利益につきましても40.1%増加し20億16百万円となりました。

事業別売上の状況

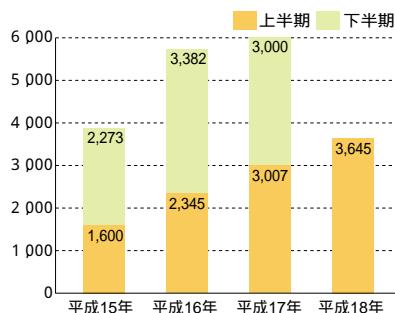


ダイカスト	50,653百万円
アルミニウム	3,689百万円
完成品	2,211百万円

業績の推移(連結)

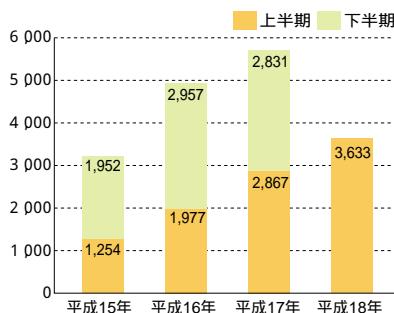
営業利益

(単位:百万円)



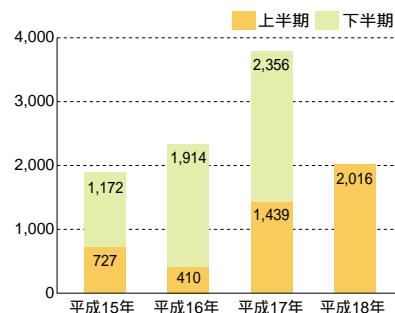
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



事業別の概況

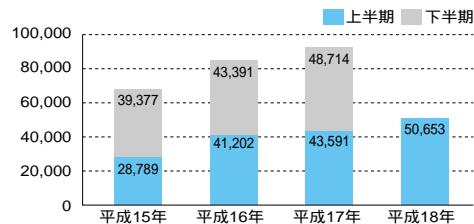
ダイカスト事業

当事業の売上高は、前年同期に比べ16.2%増加し、506億53百万円となりました。

当社の主力製品である自動車部品は、自動車メーカー毎のばらつきはあるものの全体的には好調であり、前年同期に比べ18.7%の増加となりました。収益面においては、原価低減活動と販売費の削減により、営業利益は前年同期に比べ16.4%増加し、33億5百万円となりました。

売上高(連結)

(単位:百万円)



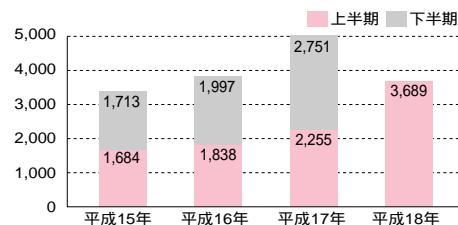
アルミニウム事業

当事業の売上高は、前年同期に比べ63.6%増加し、36億89百万円となりました。

主な増加要因といたしましては、アルミニウム地金販売重量の増加、地金価格の高騰に伴う販売価格上昇の影響などによります。収益面においては、原材料高を売上高の上昇が吸収し更に付加価値の高い製品の販売拡大により、営業利益は前年同期に比べ94.1%増加し、1億79百万円となりました。

売上高(連結)

(単位:百万円)



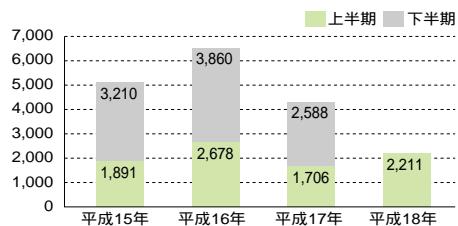
完成品事業

当事業の売上高は、前年同期に比べ29.6%増加し、22億11百万円となりました。

主な増加要因といたしましては、大型案件の取り込みをした結果であります。収益面においては、利益率を重視した営業活動の結果、営業利益は前年同期に比べ107.7%増加し、1億57百万円となりました。

売上高(連結)

(単位:百万円)



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	科 目	当中間期	前中間期
	平成18年9月30日現在	平成17年9月30日現在		平成18年9月30日現在	平成17年9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	45,277	34,080	流動負債	43,869	33,666
現金及び預金	4,425	2,803	支払手形及び買掛金	26,372	19,960
受取手形及び売掛金	28,428	21,029	短期借入金	5,277	5,271
たな卸資産	10,448	8,116	1年以内返済予定の長期借入金	2,784	1,503
繰延税金資産	1,106	960	1年以内償還予定の社債	300	-
その他の	871	1,174	賞与引当金	1,524	1,317
貸倒引当金	2	4	役員賞与引当金	18	-
			その他	7,592	5,613
固定資産	49,569	37,011	固定負債	12,126	13,605
有形固定資産	39,465	26,892	社債	700	1,000
建物及び構築物	8,178	6,411	長期借入金	4,284	6,834
機械装置及び運搬具	17,937	12,407	繰延税金負債	2,653	1,875
工具器具備品	4,044	2,784	退職給付引当金	2,574	2,304
土地	6,367	2,934	役員退職慰労引当金	217	227
建設仮勘定	2,937	2,354	連結調整勘定	-	1,358
無形固定資産	1,084	1,055	負ののれん	1,575	-
投資その他の資産	9,019	9,063	その他	121	3
投資有価証券	8,028	8,232	負債合計	55,996	47,272
長期貸付金	2	8	少数株主持分		
繰延税金資産	286	292	少数株主持分	-	111
その他の	709	541	資本の部		
貸倒引当金	7	11	資本金	-	1,691
			資本剰余金	-	1,253
			利益剰余金	-	19,121
			その他有価証券評価差額金	-	2,333
			為替換算調整勘定	-	644
			自己株式	-	46
			資本合計	-	23,707
			負債、少数株主持分及び資本合計	-	71,091
			純資産の部		
			株主資本		
			資本金	5,117	-
			資本剰余金	8,303	-
			利益剰余金	22,898	-
			自己株式	64	-
			株主資本合計	36,254	-
			評価・換算差額等		
			その他有価証券評価差額金	2,920	-
			為替換算調整勘定	427	-
			評価・換算差額等合計	2,492	-
			少数株主持分	103	-
			純資産合計	38,850	-
資産合計	94,846	71,091	負債及び純資産合計	94,846	-

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

純資産の部について

当中間連結会計期間より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」に則って、従来「資本の部」に区分していた事項を「純資産の部」に区分することになりました。あわせて、従来「負債の部」と「資本の部」の中間で独立の項目として区分していた「少数株主持分」についても「純資産の部」に区分することになりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目		当中間期	前中間期	
		平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	
営業損益の部	営業収益			
	売上高	56,554	47,554	
	営業費用			
	売上原価	48,621	40,718	
	販売費及び一般管理費	4,287	3,828	
	営業利益	3,645	3,007	
経常損益の部	営業外損益の部	営業外収益	469	509
		受取利息	2	3
		受取配当金	57	41
		持分法による投資利益	146	115
		賃貸料	23	45
		その他	239	303
		営業外費用	481	649
		支払利息	142	138
		その他	339	511
		経常利益	3,633	2,867
特別損益の部	特別利益	73	17	
	固定資産売却益	0	14	
	関係会社株式売却益	44	-	
	国庫補助金収入	24	-	
	その他	3	3	
	特別損失	195	252	
	固定資産除売却損	67	103	
	固定資産圧縮損	18	-	
	退職慰労金	4	60	
	投資有価証券等評価損	-	1	
	減損損失	104	-	
その他	-	86		
税金等調整前中間純利益		3,511	2,632	
法人税、住民税及び事業税		1,402	1,074	
法人税等調整額		88	110	
少数株主利益		3	6	
中間純利益		2,016	1,439	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

単体貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	科 目	当中間期	前中間期
	平成18年9月30日現在	平成17年9月30日現在		平成18年9月30日現在	平成17年9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	36,069	28,734	流動負債	37,454	30,177
現金及び預金	2,042	1,952	支払手形	5,534	9,032
受取手形	3,527	2,792	買掛金	15,910	7,851
売掛金	22,394	16,064	短期借入金	3,100	5,280
たな卸資産	5,519	5,462	1年以内返済予定の長期借入金	1,855	1,180
繰延税金資産	475	394	1年以内償還予定の社債	300	-
未収入金	1,069	1,101	預り金	6,284	4,238
その他	1,040	971	賞与引当金	766	752
貸倒引当金	0	5	設備関係支払手形	876	676
			役員賞与引当金	15	-
固定資産	36,531	25,322	その他	2,810	1,165
有形固定資産	13,601	8,589	固定負債	7,552	9,340
建物	2,745	1,883	社債	700	1,000
機械及び装置	3,589	3,006	長期借入金	3,072	4,927
工具器具備品	2,393	1,563	繰延税金負債	1,618	1,350
建設仮勘定	1,050	655	退職給付引当金	2,020	1,909
その他	3,822	1,480	役員退職慰労引当金	141	154
無形固定資産	281	273	負債合計	45,007	39,518
投資その他の資産	22,648	16,459	資本の部		
投資有価証券	6,779	6,015	資本金	-	1,691
関係会社株式	15,390	9,970	資本剰余金	-	1,129
その他	485	485	資本準備金	-	1,129
貸倒引当金	7	11	利益剰余金	-	9,430
			利益準備金	-	393
			任意積立金	-	8,044
			中間未処分利益	-	992
			その他有価証券評価差額金	-	2,327
			自己株式	-	39
			資本合計	-	14,539
			負債及び資本合計	-	54,057
			純資産の部		
			株主資本		
			資本金	5,117	-
			資本剰余金	8,177	-
			利益剰余金	11,443	-
			自己株式	48	-
			株主資本合計	24,690	-
			評価・換算差額等		
			その他有価証券評価差額金	2,903	-
			評価・換算差額等合計	2,903	-
			純資産合計	27,593	-
資産合計	72,601	54,057	負債及び純資産合計	72,601	-

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

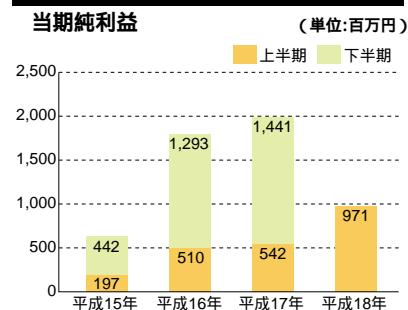
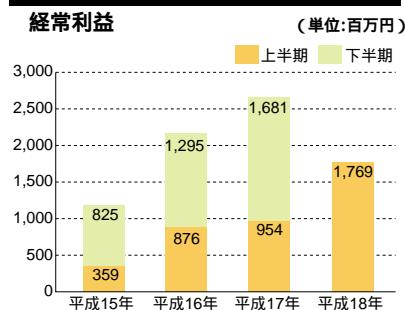
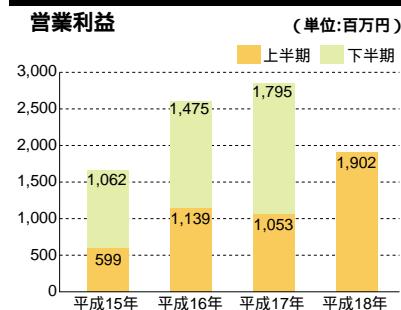
単体損益計算書

(単位：百万円)

科 目		当中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	前中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	
営業損益の部	営業収益			
	売上高	48,563	41,251	
	営業費用			
	売上原価	43,720	37,540	
	販売費及び一般管理費	2,940	2,658	
	営業利益	1,902	1,053	
	営業外損益の部	営業外収益	165	348
		受取利息及び配当金	76	115
		その他の	89	232
		営業外費用	298	447
	支払利息	56	77	
	その他の	242	369	
	経常利益	1,769	954	
特別損益の部	特別利益	45	2	
	固定資産売却益	0	1	
	投資有価証券売却益	-	0	
	その他の	44	0	
	特別損失	144	54	
	固定資産除売却損	40	48	
	減損損	104	-	
	退職慰労金	0	2	
	投資有価証券等評価損	-	1	
	その他の	-	0	
	税引前中間純利益	1,669	902	
	法人税、住民税及び事業税	732	439	
	法人税等調整額	34	79	
	中間純利益	971	542	
	前期繰越利益	-	449	
	中間未処分利益	-	992	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

業績の推移(単体)



トピックス

Topics



2006年6月 メキシコに新会社設立 米国、中国に続く海外で3番目のダイカスト生産拠点

主要顧客の現地生産に柔軟に対応し顧客に貢献すると同時に、
米国のAhresty Wilmington Corporationとの生産補完等により、
競争力を一層強化し北米市場での事業拡大を図ることを目的としています。

新会社完成イメージ



社 名 : Ahresty Mexicana S.A. de C.V.
所 在 地 : サカテカス州グアダルペ市
資 本 金 : 92百万ペソ
販 売 計 画 : 30億円(2008年度)
投 資 額 : 66億円(2009年度まで)
土 地 面 積 : 約6万 m^2
建 屋 面 積 : 約1万 m^2
生 産 開 始 : 2007年秋

メキシコ地図



株式情報

Stock Information

株式状況 (平成18年9月30日現在)

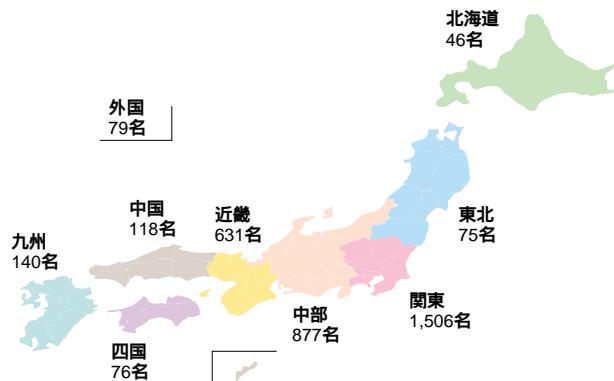
株式数および株主数

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	21,778,220株
株主数	3,548名

大株主 (上位10名)

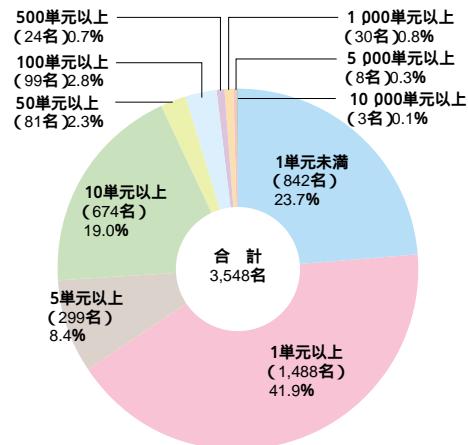
株主名	持株数(株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	1,767,100
高橋利江	1,075,647
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	1,004,000
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505019	847,100
株式会社三菱東京UFJ銀行	765,955
本田技研工業株式会社	672,755
日本軽金属株式会社	657,392
スズキ株式会社	565,767
株式会社みずほコーポレート銀行	544,375
富士重工業株式会社	509,490

地域別株主分布図

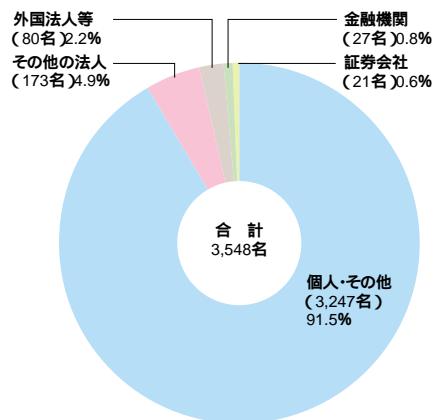


株式の分布状況

所有株式数別株主分布



所有者数別株主分布



会社の概要

Corporate Information

会社概要 (平成18年9月30日現在)

商号	株式会社 アーレスティ
設立	昭和18年11月2日
資本金	51億1,759万円
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	21,778,220株
株主数	3,548名
従業員数	962名

企業集団の従業員の状況

	従業員数
ダイカスト事業	2,777名
アルミニウム事業	42名
完成品事業	34名
全社(共通)	136名
計	2,989名

取締役および監査役の氏名 (平成18年9月30日現在)

取締役社長	高橋新
取締役	平等佳男
取締役	小木旭
取締役	林禎一
取締役	古屋茂
取締役	石山喬
常勤監査役	宇野信夫
常勤監査役	熊木勉
監査役	大崎巖男
監査役	早乙女唯夫

事業拠点一覧 (平成18年9月30日現在)

当社本社・工場

名称	所在地
本社	〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1
東松山工場	〒335-0812 埼玉県比企郡滑川町大字都25-27
熊谷工場	〒360-8543 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原284-11
浜松工場	〒433-8520 静岡県浜松市小豆餅4-14-1
豊橋工場	〒441-3153 愛知県豊橋市二川町字東向山80番地
テクニカルセンター	〒441-3114 愛知県豊橋市三弥町中原1-2
大阪管理センター	〒566-0055 大阪府摂津市新在家1-27-21

当社営業所

名称	所在地
関東営業所	〒105-0003 東京都港区西新橋2-39-3
浜松営業所	〒433-8520 静岡県浜松市小豆餅4-14-1
大阪 / 関西営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-23-26
福岡営業所	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-13-6
厚木営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町5-43-14
栃木営業所	〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
名古屋営業所	〒446-0054 愛知県安城市三河安城本町2-11-7
熊本営業所	〒869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内36

子法人等

名称	所在地
(株)アーレスティ栃木	〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
(株)アーレスティ熊本	〒869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内36
(株)アーレスティ山形	〒992-0832 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙65
(株)アーレスティ ダイモールド浜松	〒431-1104 静岡県浜松市桜台5-3-10
アーレスティ ウイルミントンCORP.	2627 S.South Street, Wilmington, Ohio 45177, U.S.A.
広州阿雷斯提汽車 配件有限公司	中華人民共和国広東省広州経済技術開発区永和経済区 新豊路7号

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主總會	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120 - 232 - 711(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	公告記載URL http://www.ahresty.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきまして、株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120 - 244 479(三菱UFJ信託銀行本店証券代行部)
0120 - 684 479(三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部) } 通話料無料

インターネットアドレス <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



当社ホームページ

<http://www.ahresty.co.jp/>

当社ホームページの「IR情報」では、株主の皆様へ最新情報をお届けしております。あわせてご覧ください。

Research Service Technology

株式会社 **アーレスティ**

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル11F

TEL.03-5332-6001 FAX.03-5332-6037

URL. <http://www.ahresty.co.jp>



古紙配合率100%を使用しています。



本誌は大豆油インキで印刷しています。



EMS Accreditation
RE014



EMS Registration
JUSE-EG-048

ISO14001:2004認証取得

本社、浜松工場、東松山工場、
熊谷工場、豊橋工場、
株式会社アーレスティ栃木、
株式会社アーレスティ熊本、
株式会社アーレスティ山形



OS Accreditation
R008



OS Registration
JUSE-RA-053
JUSE-RA-057

ISO9001:2000認証取得

JUSE-RA-053
本社(但し、商品営業部を除く)、
浜松工場(但し、北米支援室を除く)、東松山工場、
豊橋工場、熊谷工場、マグネシウム事業部、
株式会社アーレスティ栃木(製造担当)、
株式会社アーレスティ熊本(製造担当)、
株式会社アーレスティ山形

JUSE-RA-057
商品営業部及び関連組織